

I'm home

communication



soukensya
TEL:0246-68-6111 FAX:0246-80-2103
http://www.soukensya.co.jp
E-mail:info@soukensya.co.jp



植田駅にある「ビストロ アンティカ」さんは、同じ植田にある古川クラ酒店・Vin Naturel双兔の丹典彦さんのお店。自然派ワイン同様、こだわり抜いた食材のお料理は、きっと！いや、絶対！美味しいに決まってる～！ってことで、念願叶って行ってきました！

女性シェフの池田静香さんが作るお料理は、丹さんが厳選した自然派ワインに合うフランス料理。福島産の食材にこだわり、野菜は地元農家の有機栽培のもの。まずは彩り鮮やかなサラダを。見た目の華やかさにテンション上がる！旬の野菜がメニュー通りゴロゴロでシンプルな味付けが野菜の味を引き立てます。次に登場のお肉のおそうざいもりあわせ。お店に入っただけ目についたキッシュも入れてもらい大満足。アンティカ風チャーシュー、白レバーのパテ、とりハム、テリーヌなどこれでもかと盛られています。今回は車でいったため、発泡ブドウジュースでワインの気分を。オススメの放牧豚のソテーは焼いたお野菜と一緒に登場！脂たっぷりのバラ肉ですが、美味しいお肉は脂も美味しいんです。で、シェフ曰く「今日はデザートが充実中！」ってことで、取材に付き合ってくれたお友達とそれぞれ別のスイーツを。私はムラング・シャンティを。ムラング＝メレンゲだそうで、サクッフワ～のメレンゲと生クリームが最高！食感と程よい甘さがくたびれたおばさんを癒してくれました。お友達のリンゴのタルトも美味しかった～。平日18時にお邪魔した時は一番乗りでしたが、あっという間に満席状態に。美味しさと居心地の良さに取材とは名ばかりのただの楽しい食事に…。あ～次は絶対に電車で行く!!お店は駅前だし!で、美味しいお料理とワイン&丹さんと池田さんの素敵なお笑いに…。



a. “野菜ごろごろサラダ”は見た目も楽しめます。b.“お肉のおそうざいもりあわせ”は本当に盛りだくさん！写真のキッシュは特別追加で入れて頂きました。c.“放牧豚のソテー焼き野菜”は豚肉の甘みとワインの相性が最高！と友達談。d.“りんごのタルト アルザス風”添えられたスナフキン？のクッキーも美味しかったです。e.“ムラング・シャンティ”これがまた食べたくなる美味しさ♡ f.ワインの瓶やコルクが飾られている店内。

bistro antiqua

ビストロ アンティカ

いわき市植田町中央3-2-4
0246-84-8285

OPEN
17:00～22:30 (L.O.)
CLOSE
every sunday

I'm Home

I'm Homeは創建舎が編集発行するフリーペーパーです。私たち創建舎は家づくりを通して、日々の暮らしが豊かで笑顔の多い生活であることを願います。そして、環境に優しい家づくりをこれからも目指します。

『STAFFだより』



大好きなウッティの人形を手にし、ウッティの帽子もかぶり、ご機嫌な次男の財布の中身はスッカラカン! どころか、マイナス状態～。

先日、春休み前にディズニーランドへ。甥っ子&姪っ子と総勢7名で一泊二日の小旅行。うちの子と姪っ子は初ディズニーランド。もともと、旅行といえばガイドブックで念入りに情報収集する私。張り切って4冊も購入(しかしそのうちの1冊は間違っってシーのを購入。涙)もう頭の中は夢の国～チケットはコンビニで購入し、車の中で食べるお菓子やおにぎりも準備万端で出発!無事にホテルに着き、バスに乗ってランドに到着!お目当のバス・ライトイヤーのアトラクションのファストパスも入手出来てあーとりあえずこれで安心。次男はすぐにウッティの人形を購入でランド満喫～♪な雰囲気の中、長男はしきりに「ホテルに帰ろうよ。ご飯はどこで食べるの?」と興味なし。お買い物も自分で…なんて母の考えも虚しく、長男のお財布は一度も開けることなくランドを後に。次男は見るからにディズニー満喫の装いで、兄弟でもこんなに違うのね。な1日でした。



〒971-8146
いわき市鹿島町御代字九反田51-1
株式会社創建舎
TEL 0246-68-6111
FAX 0246-80-2103
HP <http://www.soukensya.co.jp>
E-mail: info@soukensya.co.jp
Facebook ID: iwaki.soukensya
Instagram: soukensya
建設業/福島県知事(般-26)第31516号
宅地建物取引業/福島県知事(4)第2277号
一般建築士事務所/福島県知事18(705)0372号



アンティカさんにあったコルクのリース
…ステキです。

『編集後記』

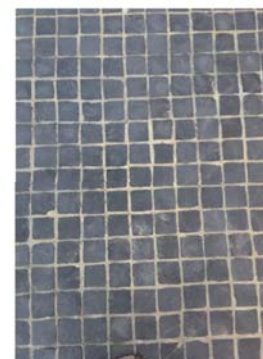
「アンティカ」さんでの取材は仕事を忘れ、ただただ美味しいお料理を楽しんだ良い時間になりました。昼間は酒屋さん夜はレストランと忙しいにもかかわらず、ワインについて嬉しそうに話す丹さんと、料理もデザートも愛情たっぷりに仕上げてくれる女性シェフの池田さん。お二人とも優しい笑顔がキラキラ輝いていて、また行きたいなあと思うステキなお店でもあり、誰かに紹介したくなるお店でした。そして、またまた表紙の写真は「野らぼう」さんからお借りした馬酔木(あせび)の花です。「馬」が菓を食べれば毒に当たり「酔」うが如くふらつくようになる「木」というところからついた名前だそうで無知な私は今回初めて知ったお花でした。すずらんに似て可愛らしく気に入ってしまいました。いつも素敵なお写真ありがとうございます。

スマホのアルバムより…

膨大な写真の中にあっという間に撮った建築に関連した写真を紹介。人それぞれ気になる対象も違うので、新鮮かも? ちょっとだけお付き合いください。



上の写真は、次男の幼稚園最後の参観日に撮った教室の床。なんだか懐かしいなあ～と。多分、中学生くらいまでは掃除の時間に教室の床を雑巾掛けしていたことを思い出した。幼稚園の建物自体は45年ほど経過しているらしく、この床も当時のままなら45年の年月をかけたこの色艶にたどり着いたのかと思うと、古ぼけたなどという形容詞などは全く思い浮かばず、あ～いい感じ!としみじみ。参観日に床の写真撮ったの、きっと私だけだったと思うけど…。



下の写真は我が家の駐車場のピンコロ石。イタリアの石畳の道路とまではいかないけれど、なかなかの雰囲気だ気に入っている。雨に濡れた時はもっといい感じに。目地にあわよくば苔など生えぬものかしら?と思っています。わが家は道路からのアプローチが長く、そこも全部ピンコロ石で敷き詰められたのですが、予算の都合で断念。いつかきっと…。

端午の節句



5月5日は男の子の節句である端午の節句。今では「こどもの日」と呼ばれ、なんだか女子は二度おいしい!な感じもしますが…。この日はもともと五節句の端午の節句にあたり、端午の端は「はじめ」という意味で「端午(たんご)」は5月最初の午(うま)の日ということでした。それが、午(ご)という文字の音が五に通じることなどから、奈良時代以降5月5日が端午の節句として定着したそうです。

鎧や兜を飾ることは、武家社会から生まれた風習で、身の安全を願って神社にお参りする際に鎧や兜を奉納するしきたりに由来している。鯉のぼりは、江戸時代に町人階層から生まれた節句飾り。鯉は清流はもちろん、池や沼でも息することができる非常に生命力の強い魚です。その鯉が急流をさかのぼり、竜門という滝を登ると竜になって天に登るといふ中国の伝説にちなみ(登竜門という言葉の由来)子どもがどんな環境にも耐え、立派な人になるようにとの立身出世を願う飾りなのです。端午の節句といえば柏餅。調べてみるとお祝いのごちそうには鯉や栗、それにちまきなども。菖蒲は悪鬼を払うといわれ昔から端午の節句に使われていた。家の屋根や軒先にさしたり、お酒に浸して菖蒲酒、枕の下に敷いて菖蒲枕に。湯船の中に入れた菖蒲湯など、いずれも身体に悪い気がつくのを防ぐという意味から使われる習わしのようです。

レンタルギャラリー デュロム
Rental Gallery 『Dröm』
¥1,000で貸し出し中～!

創建舎事務所にあるレンタルスペース『Dröm』デュロムは、スウェーデン語で“夢”を意味する言葉。夢のある生き方のお手伝いを…。そんな思いから地域貢献の場としてギャラリーをお貸ししております。ワークショップやカルチャースクール等に是非ご利用下さい。ご利用の内容によってはお断りする場合もございます。ご興味のある方は、一度見学にお越しください。商品の販売を伴う会員勧誘などのセミナーはご利用できません。まずは、お気軽にお電話ください。ご利用お待ちしております。
¥1,000/1部屋1日(平日のみ)



*いわき市錦町ウツギサキ



- 土地面積 341.00㎡ (103.15坪)
●地目 / 宅地
●用途地域 / 第1種住居
●建ぺい率 / 60%
●容積率 / 200%
●北道路
●区画整理地内 (仮換地指定済)
●分割可
●価格 / 1392.53万円
●引渡 / 即

おすすめ土地情報!!

*いわき市錦町下り立 建築条件つき

	B 187.91㎡ (約56.85坪) 7,674,750円		A 187.91㎡ (約56.85坪) 8,811,750円
	C 187.91㎡ (約56.85坪) 7,674,750円		モデル区画

●地目 / 宅地 ●用途地域 / 第1種住居 ●区画整理地内 (仮換地指定済)
●建ぺい率 / 60% ●容積率 / 200% ●引渡 / 即

詳しくは株式会社創建舎 まで。

子供部屋のはなし その2

●日本の子供部屋

子供部屋は子供の自立のための空間と考えられていますが、日本では居間や家族室の片隅に子供の居場所を作って親の目が届くようにするほうが受け入れられやすいでしょう。しかし、実際は約8割の親が子供に部屋を与えて、「子供に自主性を持たせるため」としていません。子供の様子を知りたいと思いながら、他方では独立心を養うためと考え、この矛盾に気づかないで個室を与えていると先生は指摘。

日本の子供部屋は面積をとる学習机に代表されるように「勉強室」としての意味合いが大きいといわれています。子供の部屋の掃除や衣類の整理を理由に母親は子供室に入り、それとなくチェックをしている。こうした世話型のコミュニケーションは子供の成長と共に少なくなり親子の会話という本来のコミュニケーションが育ちにくいでしょう。

●子供の自立のために

「では何歳頃から個室を与えるのがいいのでしょうか？」との問いに先生は、そういう質問はよく聞かれるのですがどの前置きの上、「各家庭で違うと思いますが、親としてどんな子育てをしていきたいか、どんな目標を持っているのか？そのところをよく考えてみましょう。」と、「子供部屋がなぜ必要か？つまりは腹がたったら自分を閉じ込める場所、ひとりで思い切り泣ける場所、そんな場所が必要なのです。」

私たちは確固とした子育ての意思をどれほど持っているのでしょうか？子育ての不安はつきものですが、親の迷いは子供も敏感に感じ取ります。単に基本的な生活習慣の習得だけでなく、子供を個人として認め、対峙することも大切ではないでしょうか。

参考文献：北浦かほる著「世界の子供部屋」井上書院

【 子供部屋の占有面積の比較 】

アメリカ	14.1 ㎡
ベルギー	16.6 ㎡
ドイツ	18.8 ㎡
ポーランド	10.5 ㎡
日本	11.1 ㎡



※子供が結婚しても同居することの方が少ない現在、果たして子供部屋って必要なのか？いずれいなくなるのであれば、誰が使ってもいい部屋にしておけばいいのでは？そう思っていたところ、以前開催した「マイホーム学院」で講師の先生がおっしゃっていた内容に納得した。子供部屋を与えてもいい。しかし、貸してあげるという前提で。だそうです。なので、わが家も今のところ子供部屋は無いです。欲しいと言いついたら貸すことにします。皆さんはどうしますか？

↑やはり日本はに比べると狭いですね。 ↑ヨーロッパの子供部屋。壁面に収納が。

Skogの家の家
カリフォルニアスタイルを楽しむ家!



土地面積：440.71㎡ (133.40坪) / 延床面積：1038.1㎡ (314.0坪)

イベント開催決定!!

5 / 5(日)・6(月) 10:00 ~ 17:00

小名浜下神白草木屋地内
セパイレブルゆき下神白店近く

- メンテナンスフリーの樹脂サイディング
- 太陽光発電+蓄電池システム
- 明るさと開放感のあるリビングの吹抜け
- テキサスロックウォールが映える玄関ホール
- 小名浜東小学校 学区
- 長期優良住宅
- 第一種換気

OPEN HOUSE

売却型モデルハウス

イベント時以外で
見学をご希望の方は、
創建舎まで
ご連絡ください。



Skogの家の家



『杉』『檜ヒノキ』に続き、今回は『松』について。もしかしたら、杉や檜(ヒノキ)よりも身近な存在なのではない?!の松。実家の庭とかにある確率も高いでしょう?それに、苗字にも松の漢字がいっぱい!松はおめでたいものとされ、松の漢字を使った苗字が多いんだとか。一口に「マツ」と言ってもその範囲はとても広くて、マツ科マツ属の木は世界中に分布している。一般的に「マツ」と言った時に思い浮かべるのがアカマツ・クロマツ (=パイン)などはマツ属に含まれ、学名はPinus。一方、ベイマツ・トドマツ・エゾマツ・カラマツなどはマツ属とは異なる属に分類されている。日本では、1本の短枝につく葉の数が2枚(二葉松)と5枚(五葉松)のいずれか。クロマツの日本における天然分布の北限地は青森県、南限は鹿児島県屋久島・種子島とされている。もう、北海道と沖縄って何の木が生えてんの~?!ってかんじ。だって、杉も檜も松も無いなんて~!で、日本におけるマツの代表はアカマツとクロマツなんだそう。クロマツは男松といわれ、濃緑色の葉と黒みをおびた樹皮が特徴。年を経ると樹皮が厚く、亀甲状になる。一方アカマツは、女松といわれていて、樹形がやわらかみを持ち、葉の緑も茎が細く黄緑色で繊細な感じだそうです。マツを見かけたら、じっくり違いを見てくださいね。

で、檜ヒノキ同様文化財にも多く使用されてきたマツ。寺社の縁側・小屋組はほとんどがマツを使用している。なので、文化財の修復が一番の問題に。修復にあたっての材料調達がおぼつかない。「大径木がない」というのは檜ヒノキに限った話ではなく、マツも同じ。可能なかぎり、地元のマツを使って修復するのが正しい姿である。と専門家の方はおっしゃる。城郭の小屋組もほとんどがマツでできているけれど、城郭が大量に補修を必要とする時期になったらどうするのだろうか?と心配も。しかし、将来にわたってマツ材を確保する対策はほとんど検討されていないという。どうなる日本?!どうなる日本建築~?!

最後に、マツに限った話ではないですが、この本の中で日本の住宅のインテリアに木の柱がなくなりつつある。といったことをおっしゃる方がいらっしゃいました。柱はありますが、仕上がりに柱が見えないインテリアが多いのが現実。季節的にも「柱の傷はおとしの五月五日の背比べ~♪」が今どきの家では出来ないのです。また、見た目は木のように見えるプリントされた木目柄のドアや床。本物の木が持つぬくもりは、触れなくても感じられる。その違いに気付いて欲しいな…。次回はたぶん櫻ケヤキ。